

「福祉と医療の杜 うるまこどもステーション」

オープン記念シンポジウム 市長あいさつ文

日時：令和4年6月5日（日）13時

場所：うるま市民芸術劇場 燈ホール

ただいま、ご紹介にあずかりました、うるま市長 中村 正人でございます。

「福祉と医療の杜（ふくしといりょうのもり） うるまこどもステーション」オープン記念シンポジウムの開催にあたりごあいさつ申し上げます。

本日は、（日曜日の）お忙しい中、本シンポジウムへご来場いただき、誠にありがとうございます。

「福祉と医療の杜 うるまこどもステーション」は、「児童発達支援センター」や「きゃん児童館」、「親子通園事業」が入居する福祉棟と、複数の医療機関などが入居する医療棟、兼原幼稚園から民営化した「兼原こども園」の3つの施設を併せた総称であります。

「兼原こども園」は、社会福祉法人「わかめ福祉会」の運営により令和4年4月から開所しており、「児童発達支援センター」などが入居する福祉棟は来る8月、医療棟は10月にオープン予定となっております。

また福祉棟の愛称につきまして、「こどもも大人もあたたかく、心地良い場所でありますように」と願いを込めて「きゃんひだまりひろば」に決定致しました事も、この場を借りて皆様にご報告致します。

「うるま こどもステーション」が市内の子育ての拠点となり、皆様にとって利用しやすく、地域に愛される施設を目指して、官民一体となって取り組んで参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

本日は、長丁場となりますが、「うるま こどもステーション」の意義、目的を市民の皆様へお伝えする貴重な機会と考えておりますので、最後までよろしくお願い致します。